

2017年12月11日(月)
株式会社リクルートライフスタイル
エイビーロード・リサーチ・センター

エイビーロード AB-ROAD

2017年年末年始ツアー問い合わせ概況

人気旅行先は1位「台北」、2位「オアフ島」、3位「セブ島(フィリピン)」
出発日は12月26日～1月4日にかけて分散、29、30日がピーク
「成人の日」も含めた、遅めの日程で検討する人が増加

エイビーロード・リサーチ・センター(株式会社リクルートライフスタイル内、センター長・沢登次彦)は、同社が運営する海外旅行検索・比較サイト『エイビーロード』(<http://www.ab-road.net/>)における、カスタマーの海外ツアーへの問い合わせ実績を集計し、2017年年末年始期間の海外旅行マーケットを考察いたしました。

<結果要約>

1. 問い合わせ時期・・・P2

→直前予約の進んだ前年に比べ、やや前倒しの傾向。

2. 人気旅行先・・・P3

→1位「台北」、2位「オアフ島」、3位「セブ島(フィリピン)」。

4位に「バンコク」が6ランクアップ、圏外から9位に「香港」がランクインし、アジアに勢い。
方面別ではヨーロッパのシェアが22.2%と前年より3.6ptアップ、回復傾向に。

3. 日数、希望する出発日、帰着日・・・P4、P5

→出発日は2017年12月26日(火)～2018年1月4日(木)に分散化、
ピークは12月29(金)、30日(土)。

帰着日のピークは2018年1月2日(火)、3日(水)だが、8日(月・祝)までゆるやかに続く。
例年に比べて1月に入ってからのお出発・帰着が増加、
「成人の日」まで含めた休暇が増える傾向に。

【本件に関するお問い合わせ先】

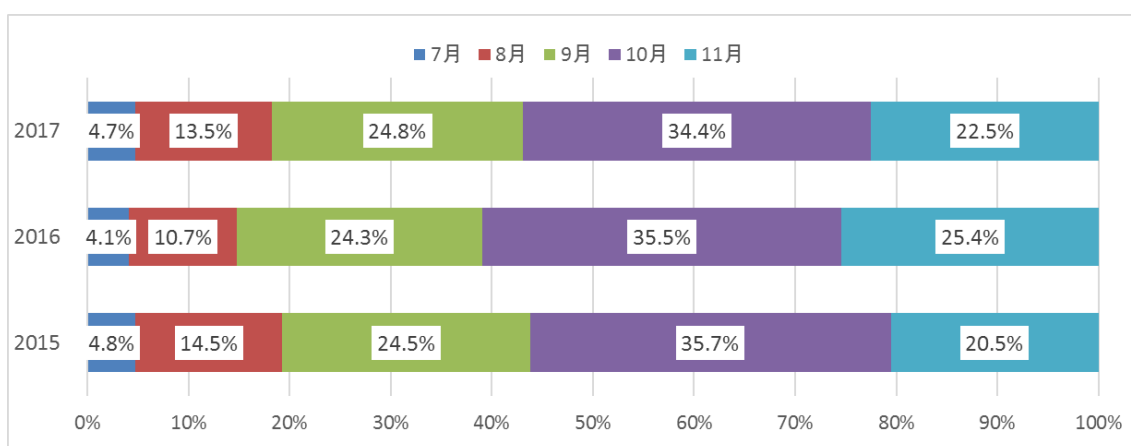
<http://www.ab-road.net/frame/question.html>

1. 問い合わせ時期

2017年の年末年始期間(2017年12月23日(土・祝)～2018年1月8日(月・祝))のいずれかが旅行期間に含まれる旅行)の新規問い合わせ数(2017年7月1日(土)～11月15日(水)までの問い合わせ)を集計した。問い合わせ時期をみると(データ1)、直前予約化の進んだ2016年と比べて「8月」が微増、やや前倒しになり、2015年とほぼ同じレベルに戻った。

※1 問い合わせの定義:『エイビーロード』カスタマーのメールによる旅行会社への問い合わせと、旅行会社へのホームページへのリンク数を含めた数値

■データ1: 問い合わせ時期(2015～2017年比較)



2. 人気旅行先

都市別のシェアランキングは(データ 2)、1 位が「台北」(7.3%)、前年よりシェアは落としたが、2 位の「オアフ島」(6.3%)を上回った。ベスト 3 の顔ぶれは 2016 年と変わらないが、4 位に「バンコク」(3.1%)が 6 ランクアップ、9 位に「香港」(2.2%)がベスト 10 入りするなどアジアに勢い。「グアム」は圏外となった。

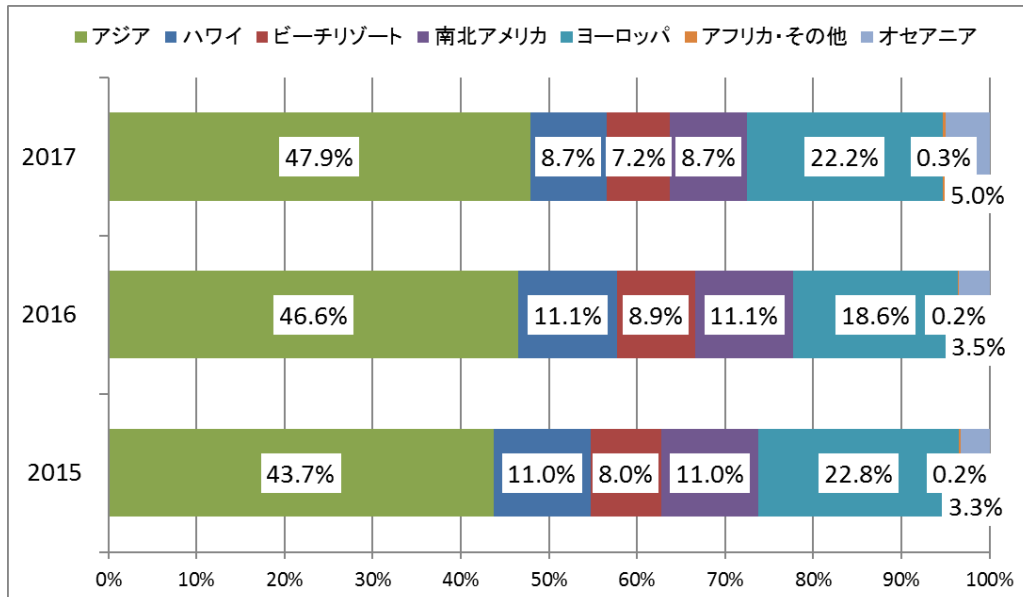
方面別にシェアをみてみると(データ 3)、「アジア」が年々増加傾向にあり 2017 年は半数近くを占めた。「ヨーロッパ」(22.2%)と、前年(18.6%)から 3.6 ポイント増加し、回復傾向にある。

■データ 2: 旅行先シェア TOP10 / 参考: 2016 年、2015 年

順位	2017年問い合わせ都市名	シェア	順位	2016年問い合わせ都市名	シェア	順位	2015年問い合わせ都市名	シェア
1	台北	7.3%	1	台北	9.4%	1	オアフ島	8.1%
2	オアフ島	6.3%	2	オアフ島	8.5%	2	台北	5.8%
3	セブ島(フィリピン)	4.0%	3	セブ島(フィリピン)	4.4%	3	グアム	3.9%
4	バンコク	3.1%	4	ローマ	2.9%	4	パリ	3.8%
5	ローマ	2.8%	5	ソウル	2.8%	5	セブ島(フィリピン)	3.8%
6	ソウル	2.7%	6	バルセロナ	2.6%	6	ソウル	3.0%
7	パリ	2.5%	7	グアム	2.5%	7	バルセロナ	2.7%
8	バルセロナ	2.3%	8	バリ島(インドネシア)	2.3%	8	シンガポール	2.5%
9	香港	2.2%	9	ロンドン	2.2%	9	バリ島(インドネシア)	2.5%
	バリ島(インドネシア)	2.2%	10	シンガポール	2.1%	10	ロンドン	2.2%
				パリ	2.1%		ローマ	2.2%
				バンコク	2.1%			

※2 小数点第 2 位を四捨五入した数値でランキング

■データ 3: エリア別シェア(2015~2017 年比較)

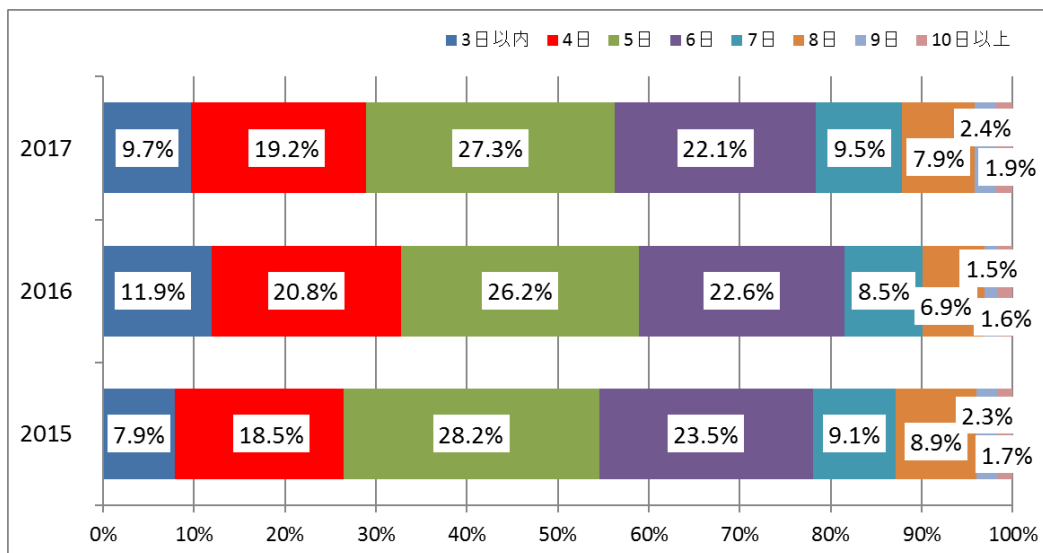


※3 「ビーチリゾート」は上記分類以外のエリアのビーチエリアを示す(グアム、サイパン、ニューカレドニア、タヒチなど)

3. 日数

ツアー日数の分布をみると(データ4)、短期に大きく伸びが見られた2016年と比べて「5日」「7日」などが微増。平均日数では5.5日(データ5)。

■データ4: 問い合わせシェア 日数別(2015~2017年比較)



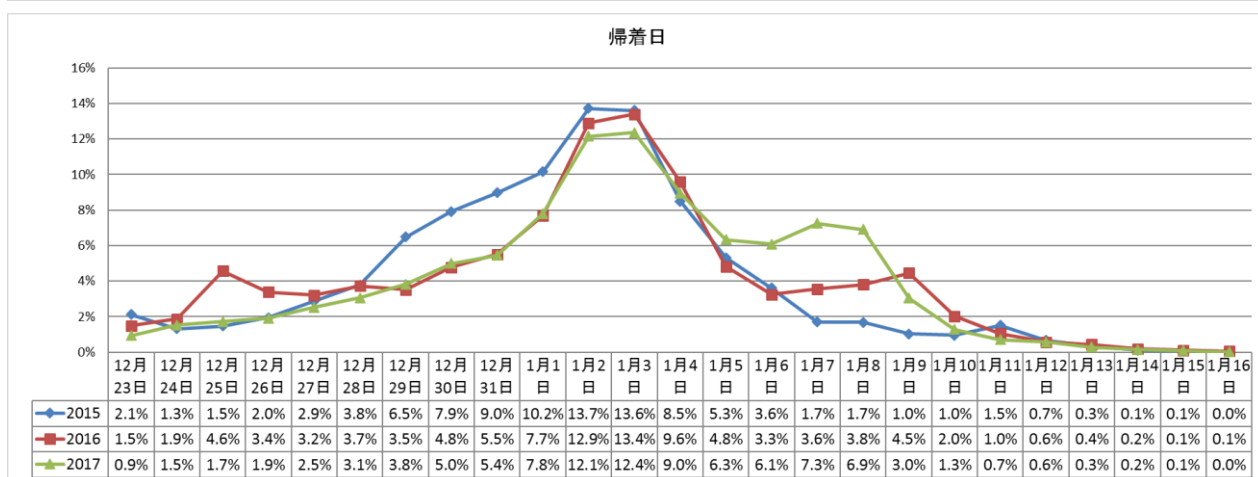
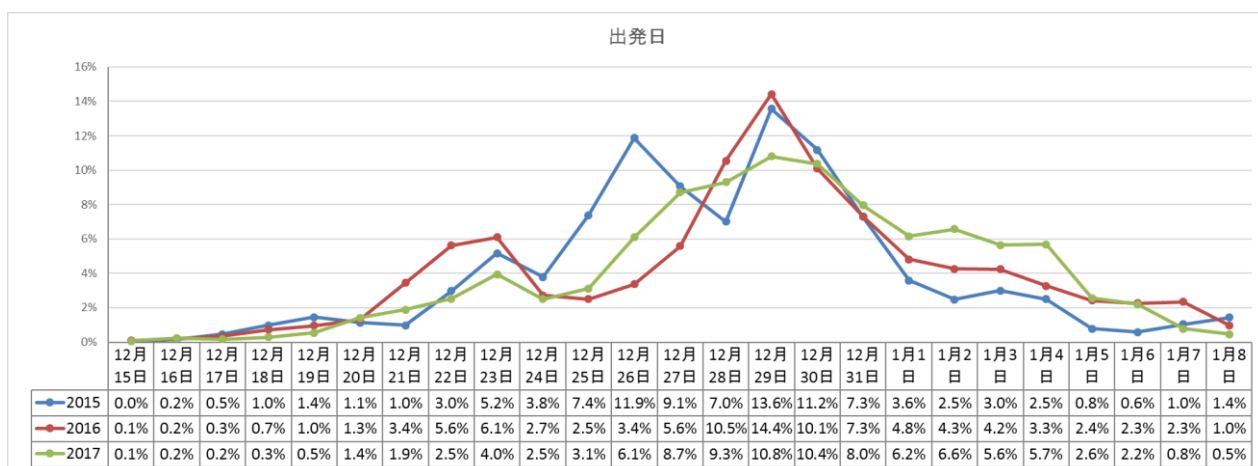
■データ5: 平均日数(2015~2017年比較)

	2015	2016	2017
平均日数	5.5	5.3	5.5

4. 希望する出発日・帰着日

出発日は、過去2年と比べると分散しており、12月26日(火)から1月4日(月)にかけてゆるやかに推移しており、ピークは29日(金)、30日(土)(データ6)。帰着日のピークは過去2年同様1月2日(火)・3日(水)だが、8日(月・祝)までなだらかに続く。月別のシェアをみると(データ7)、2015年から徐々に1月に入ってからの出発・帰国の割合が高くなっており、成人の日まで含めた休暇を検討する人が増えているようだ。

■データ6: 希望出発日・帰国日(2015~2017年比較)



■データ7: 希望出発日・帰着日の月別シェア(2015~2017年比較)

	2015	2016	2017
12月出発計	84.6%	75.4%	69.9%
1月出発計	15.4%	24.6%	30.1%

	2015	2016	2017
12月帰着計	36.9%	32.1%	26.0%
1月帰着計	63.1%	67.9%	74.0%